

安全だより

第 46 号

◆発行
令和元年 6 月 20 日



公益社団法人
下松市シルバー人材センター
安全委員会

全国統一安全スローガン

事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

『急がば回れ』

昔のことわざに、「急がば回れ」というのがあります。
急ぐ時は、早道や危険な方法を選ばずに、むしろ回り道で確実に安全な道を通った方が、結局は早く着けるものだという教えです。
また、目的を達成するのに性急にやらずに余裕を持つ方が確実であり、時には好い運をつかむ事はあるということにもなっています。皆さん、このように「作業は安全第一を心がけ、急いだり、慌てたりしない」事が大切である事をお忘れなく!!



コラム 『安全の ABC』

皆さん既に「安全の ABC」はご存知の事と思います。

「A=当たり前の事を」「B=馬鹿にしないで」「C=ちゃんとやる」

という安全行動を推進する言葉です。



シルバー人材センターでの「A=当たり前の事」とは、先輩の方々から引き継ぐ「安全就業基準」「作業別安全就業基準」です。様々な安全第一の行動が決められています。例えば作業機器について考えると、

「A=当たり前」とは、機器の使用方法・危険性・日常点検です。

「B=馬鹿に」とは、使用方法・危険性・整備方法は知っていても、いつの間にか慣れと自信からの油断で注意が散漫となる状態です。

「C=ちゃんとやる」とは、正しい準備と使用方法で集中して丁寧に作業する事です。

このように「安全就業基準」「作業別安全就業基準」を守る事が安全の基本です。

私たちの仲間から事故が発生しないように笑顔で声を掛け、相互に注意しあい、

『事故ゼロ』を目指しましょう。



事故報告

賠償事故

旧清掃工場跡地

草刈

事故内容 飛び石による車の塗装損傷

防護ネットを張って作業していたが、一部取り外した際に石が飛び隣接の駐車場にとめてあった車にあたり、塗装剥げの事故となった。



会員の声

私は、高齢ながらも庭木の剪定作業に日常携わっています。高い所の作業ですので、当然、落下・転倒及び刃物による裂傷という危険と隣り合わせとなります。自分自身が注意する事はもちろんですが、周りからも「ご安全に、怪我をしないように」と頻りに声をかけられます。

ところで、「安全」とはなんであろう…と振り返ってみるのも安全に対する自分の成長に繋がるのではないかと思います。

ある研修会にて、「安全とは、人とその共同体への損傷、並びに人、組織、公共の所有物（無形のもの含む）に損傷がない事と、客観的に判断される事である」とありました。ここでのポイントは、『客観的に判断される事』にあります。自分一人が「これで良いのだ」ということではありません。『誰もが』という事です。しかしながら、色々な角度から安全を高めようとする、利便性、経済的利益、個人の自由な行動等が制約されます。こういったトレードオフの次元に留まる事なく、「安全性と行動の自由を両立させる努力を続ける事が重要となってくる」と結んでいます。

私も、安全と多くの制約とを天秤にはかる事が多々ありますが、多くの情報と改善、そしてトレーニング等をふまえ、より高度な安全を身につけていきたいと心新たに感じています。

剪定班 横田進

—安全委員より—

就業は安全第一を心がけ、急いだり、慌てたりしないようにしましょう。

帰宅するまでは就業のうち、交通事故に気をつけましょう

(会員のしおり 安全心得10か条より)

仕事を終わるとほっとして、疲れも感じたりして気が緩みがちになったりします。帰宅するまでは就業のうちですので、気をつけましょう。参考までに、他シルバークラブの帰宅中の事故体験事例を紹介します。

* 自転車で帰宅中、交差点で出合頭に自転車通学の学生と衝突し、転倒。

→ 通院1日の打撲傷を負った

* 仕事を終え、激しい雨のなか車を運転し帰宅途中、曲がり角のコンクリート塀に追突

→ 肋骨と胸部骨折 入院11日 通院26日

※帰宅の際にはくれぐれも交通事故に気をつけて!!

参加者募集

『安全・適正就業推進大会』

7月12日(金) 10:00～

スターピアくだまつ

今年は、講演が贅沢に2本立て!!

そして、皆さんの為になるヒヤリハットについてのパネルディスカッションを開催いたします。

参加賞も出ますので、就業を休んで是非参加してください。

